

「現代世界と古典学」

古典学の再構築 第4回公開シンポジウム プログラム

「古典学の再構築」では、平成12年9月22日(金)・23日(土)の両日、第4回公開シンポジウムを開催した。会場は、初日が芝蘭会館(京都市左京区吉田牛ノ宮町11-1)、2日目は京大会館(京都市左京区吉田河原町15-9)であった。今回も多数の人々の参加を得て、充実した講演と活発な議論が展開された。両日のプログラムは以下の通りであった。本号はそのシンポジウム報告を特集したものである。

平成12年9月22日(金) / 於芝蘭会館(京都市左京区吉田牛ノ宮町11-1)

- 13:00 開会の辞 上山春平(評価委員)
- 13:15 総括班報告 「一般古典学の構築にむけて」
中谷英明(領域代表)
- 13:30 研究報告1 「シャーンティデーヴァ作『入菩薩行論』の伝承と変容
初期本テキストの発見秘話」
斎藤明(東京大学大学院人文社会系研究科教授)
- 14:15 研究報告2 「ローマ法における「正当価格」」
西村重雄(九州大学法学部教授)
- 15:00 研究報告3 「モンゴル時代の世界地図 文明圏を超えて」
杉山正明(京都大学大学院文学研究科教授)
- 16:00 パネルディスカッション「現代における古典の価値」
木田章義(司会・日本)・中畑正志(西洋)・川原秀城(中国)・
丘山新(仏教)・杉山正明(モンゴル)
- 18:00 懇親会 於芝蘭会館(～20:00)

平成12年9月23日(土) / 於京大会館(京都市左京区吉田河原町15-9)

- 9:00 基調講演1 「新しい人間の絆 東欧諸国の古典学」
講演者 久保正彰(東京大学名誉教授)
講演者紹介 中務哲郎(京都大学大学院文学研究科教授)
- 10:00 討議
- 10:30 基調講演2 「古代ギリシャにおける科学文献の伝承」
講演者 Heinrich von STADEN (Princeton 高等研究所教授)
講演者紹介 中務哲郎(京都大学大学院文学研究科教授)
- 11:30 討議
- 13:00 基調講演3 「聖書の創造信仰の形而上学批判的可能性」
講演者 Guenther POELTNER (Wien 大学教授)
講演者紹介 関根清三(東京大学大学院人文社会系研究科教授)
- 14:00 討議
- 14:45 研究報告4 「10世紀ビザンツ皇帝の帝国統治と古典活動
中世ローマ帝国の世界秩序理念について」
大月康弘(一橋大学経済学研究科助教授)
- 15:30 全体討議 「現代における古典学の役割」
司会 中川久定(京都国立博物館館長)
- 16:45 開会の辞 藤澤令夫(評価委員)
- (17:00～18:15 拡大総括班会議)